

戯曲 彼と彼女

なせそ、う
させたか (四)
正木生投

年増な女中「そうですが、こちらへいらつしやいませ、七番でございませ、

彼女達に通されたる部屋は竹の間とか云つて障子から床の間、柱、縁板にいたるまでことごとく支那竹によつて造られた六疊の間であつた、

前には泉水(万字形)があつて一尺位ある赤鯉、黒鯉が右往左往しながら盛んに水音を立てるた、温泉宿にふさはしい湯気が庭中を霧にしてゐた、すつかり湯上り姿に手拭を下げた野村がいとも心持よげに廊下づたいに座敷には入つて来た、先程から藤椅子に寄りかゝつてゐた朝雄と幾子は何かヒソ／＼話あつて居る様なもんだから野村はきまり悪そうに

野村「おい君、は入つて来た玉へ、素的だよ、この間の湯舟と異つてすつかり「マイル」なんか張りつめて非常によくなつたよ、幾子さんもおは入りになつては如何です、

朝雄「じゃ」は入つて来ますなんだか昨晚風呂へ行かなかつたせいかしらないが、体中が汗だらけの様な氣持がしていいからさうです

(幾子を誘ふ様なまなざしで)
幾子「じゃ」野村さん失禮させていたゞきますわ私もお風呂には入つて参りますから、

野村「あア、結構ですよ、どうぞごゆつくり、朝雄達の去つた後で何かを聯想する様な顔付で、僕見た事のある女性だげど、どこだつたらうかしら(漸くうなづかれた様に)そう／＼あの邊であつた女性だよ田町の角であつた女だねたぶん、それにしてはあまり家付の娘らしい所があるけれども、さあわからない、結果は困難、發見不可能の状態だね(女中がお茶と菓子とを下げては入つて来る)四方を見て驚いたよ、おい、

女中「お連れ様は、野村「おつれ様か、お伴れ様はお二人もお風呂にいつたよ、だからお化粧道具を一通りお風呂へ持つて行つて呉れ玉へ、

女中「はい、只今持つて参ります、ご飯の御用意いたしましたせうかしら、野村「そうだね、まあ待ち玉へ、藤本君だの幾子さんか上つて来てから注文するから、さうだね近頃はお客様があるかい冬とちがつてあるだらうね、

萩原齒科醫院

萩原義雄
平町南町
電話二五九



御料理 尼忠

面白く
お安く
平新田町
電話八六五番

彫刻 玉章堂

磐城 平町
三丁目元郡役所通

本の 冷 藏 器 丸

製造元
平町 電話三五九番
三丁目

恐怖時代の 新薬

動脈硬化症 豫防及治療
アイヨール錠
試用二圓
中瓶六圓
大瓶廿圓
發賣以來 白熱的に 歡迎せらるる

特約店 山野邊藥局
平町五丁目

◆ 需 應 院 入 ◆
平町 藤 沼 醫 院
番七〇五話電

西班牙 G.H.N 元 詰
甘 味 葡 萄 酒
ゴ ル フ ポ ー ト ワ イ ン
¥ 1.10
御婦人の方には少し水を加へて
召し上るさ風無一そう佳良です
(電話) 西村屋藥舖 (三番)

印刷物の 御注文は
會川活版所へ
平町四丁目

和 洋 裁 縫 高 島 屋

價 廉 質 高
質 高 價 廉
良 品 廉 價
美 容 的 裁 縫

洋 服 は 模 範 裁 縫
高 島 屋 へ
平町南町 電話八〇七番

高 島 屋

親切と迅速をモットーとする
寫眞の御用 命は當館へ
大野寫眞館
平町仲田町

入湯時の快感を
「カクニ石鹼」で
品質純良
價格低廉
心地よい泡立
優雅な香

壹 金拾錢
ツルヤ
平町四丁目
電話一四〇

玉屋洋品店
平町四町通 電話六五六番